

株主の皆様へ

第155期

第2四半期事業のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日



創業100周年を迎えました。
 お客様、株主の皆様をはじめ
 ステークホルダーの皆様のおかげであり、
 心より感謝を申し上げます。
 次の100年も持続的に成長していくための
 経営基盤の強化に取り組んでまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第155期第2四半期(2019年4月1日~2019年9月30日まで)における経営環境は、消費スタイルの急速な変化に伴うEC市場の拡大などによる小口貨物の増加基調に加え、国内労働需給の逼迫など、厳しい状況が継続しています。

このような状況のもと、ヤマトグループは高品質なサービスを提供し続けるため、「働き方改革」を経営の中心に据え、「デリバリー事業の構造改革」、「非連続成長を実現するための収益・事業構造改革」、「持続的に成長していくためのグループ経営構造改革」の3つの改革を柱とする中期経営計画「KAIKAKU 2019 for NEXT100」に基づき、ヤマトグループが持続的に成長していくための経営基盤の強化に取り組んでいます。

デリバリー事業においては、収益力の回復に向けて、プライシングの適正化や新規顧客への営業を推進するとともに、コストコントロールの強化に取り組みました。

ノンデリバリー事業においては、グループ各社の強みを活かした既存サービスの拡充に取り組むとともに、グループ全体でアカウントマネジメントを強化し、お客様の課題解決に当たるソリューション営業を積極的に推進しました。

これらの結果、当第2四半期(累計)の連結業績は、営業収益はデリバリー事業の構造改革を推進した中で、宅急便単価が上昇したことなどにより前年同期に比べ増収となりましたが、営業利益については、集配体制の構築に向けて増員などを進めたことで委託費は減少したものの、人件費が増加したことなどにより前年同期に比べ減益となりました。

第3四半期以降も引き続き、「デリバリー事業の構造改革」を推進し、業務量に応じたコストコントロールに注力しつつ、プライシングの適正化と取扱数量の拡大に取り組むとともに、グループ全体でアカウントマネジメントを強化し、お客様の課題解決に当たるソリューション営業を推進してまいります。

次の100年は、環境など世界が直面する社会課題に対し、企業の関わりや課題解決がより重要になると考えます。ヤマトグループは、持続的に成長していくための経営基盤の強化を目的とした中期経営計画「KAIKAKU 2019 for

決算ハイライト	前第2四半期 (単位:億円)	当第2四半期 (単位:億円)	増減 (単位:億円)	伸率
営業収益	7,891	8,001	↑ 109	1.4%増
営業利益	234	62	↓ 172	73.5%減
経常利益	227	27	↓ 200	88.0%減
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	99	△34	↓ 134	—

NEXT100」に基づき、働き方改革をはじめとした構造改革を推進するとともに、持続的な成長と持続可能な社会の実現の両立に向けたESGの強化、具体的には、グループガバナンス、安全施策や環境施策、地域活性化に向けた取組みなどを強化してまいります。

ヤマトホールディングスは、創業100周年を迎えました

1919年11月29日、大和運輸株式会社として東京・銀座で創業した当社は、創業100周年を迎えました。これもひとえにお客様、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様のおかげであり、心より感謝を申し上げます。

荷物を運ぶ手段が牛馬車、荷車であった当時、創業者・小倉康臣は自動車の将来性に注目しました。そして、トラックが必ず貨物輸送の主役になるという強い信念のもと、日本全国でわずか204台にすぎなかったトラックの内、4台を購入してトラック運送事業を起こしました。

その後100年という長い道のりには、大きな節目が三つ

ありました。一つ目は1929年、日本で初めての路線事業として、東京～横浜間で定期便を開始したこと。二つ目は1976年に宅急便を発売したこと。三つ目は2013年に発表し、現在も取り組んでいる「バリュー・ネットワーキング」構想の推進です。また、100年の歴史を支えてきたものは、創業者から受け継がれてきたイノベーションを起こすチャレンジ精神と、創業者が制定した「ヤマトは我なり」「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」「思想を堅実に礼節を重んずべし」の社訓です。

時代が変わり、世の中も大きく変わる中で、当社はこの先の100年もお客様の生活に寄り添い、またお客様のビジネス発展に寄与することで、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後もヤマトグループに、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

長尾 裕

記念誌『100年のあゆみ』を 発行しました。

このたびヤマトグループ創業100周年記念誌『100年のあゆみ』を発刊いたしました。『100年のあゆみ』は、当社の歴史を時代とテーマに分けてそれぞれのエピソードを物語として読みやすく編集しております。株主の皆様、当社をより深くご理解いただきたく、謹呈申し上げます。ぜひ、ご一読ください。



- 1919年 東京・銀座で創業
- 1923年 三越呉服店と商品輸送の契約を締結
- 1929年 東京～横浜間で定期便を開始
- 1960年 東京～大阪間の路線運行を開始
- 1976年 「宅急便」発売
- 1983年 「スキー宅急便」発売
- 1997年 「宅急便」の全国ネットワーク完成
- 2007年 個人向け会員制サービス「クロネコメンバーズ」開始
- 2013年 「バリュー・ネットワーキング」構想を発表
総物流ターミナル「羽田クロノゲート」の稼働開始
- 2017年 「関西ゲートウェイ」を開所し、関東・中部・関西の主要都市を繋ぐ革新的なネットワーク基盤を構築
- 2019年 創業100周年



ヤマトホールディングスは、 東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーとして、 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功を 物流面から支援してまいります。

当社は、大会の準備および開催期間に発生する大規模な物流業務を円滑に行くと同時に、社会的インフラ企業として通常の配送業務や企業活動を維持するべく、物流ネットワークの進化に努め、万全の体制で物流サービスの提供をしてまいります。



東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー



ホームページ特設サイトにて、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連したヤマトホールディングスの最新情報がご覧いただけます。

▶▶ <http://www.yamato-hd.co.jp/tokyo2020/>



東京2020大会の準備と円滑な運営を 物流面からトータル支援



総合物流ターミナル「羽田クロノゲート」や、関東・中部・関西をつなぐ物流ターミナル「ゲートウェイ」に加え、東京都内700カ所以上の集配拠点などを活用し、東京2020大会期間中に世界中から集まる荷物を正確かつ迅速に輸配送します。

渋滞・安全・環境に配慮した最適な物流

オフィスビルや複合商業施設などで、複数事業者が行っていた配送を1社に集約することで物流の効率化、待機車両による渋滞の緩和、事故リスクの抑制、CO₂排出削減などを実現する「ビル・タウンマネジメント」のノウハウを、東京2020大会の競技会場や関連施設が集中するエリアで活用し、業務の効率化や安全の向上と環境負荷低減を両立する物流を実現してまいります。



海外からの来訪者へのおもてなし



空港、駅、観光地などで、ホテルへの手荷物の当日配送やお土産品の配送などを行う「手ぶらサービス」の拠点を拡大し、訪日外国人の皆様に、東京、そして日本全国を満喫

していただくとともに、各地の魅力的な地域産品の購買を促進するなどの、日本ならではの「おもてなし」を実現します。

持続的な都市型物流ネットワークの構築



東京2020大会が目指すレガシーの創造に物流面から参画し、多彩な物流タッチポイントの整備や、都市型の客貨混載モデルの創造、自動運転など新たな技術の活用で、

企業や自治体の皆様と連携し、持続的な都市型物流ネットワークの構築に取り組んでまいります。

車いすバスケットボール専用資材の開発で快適な輸送を支援

当社は、2018年4月に一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟とオフィシャルサポーター契約を締結しました。車いすバスケットボールの競技人口は全国各地で増えており、海外でも多くの日本人選手が活躍しています。こうした選手の活動の場が広がる一方、車いすの輸送手段・方法は確立されておらず、様々な課題があります。当社は、競技用車いすの輸送支援によって選手の負担軽減を図り、車いすバスケットボールのさらなる発展と同時に、車いすの輸送ノウハウが培われることで、競技用に限らず車いすを簡単に送ることができる社会の実現に貢献してまいります。



写真/2019年2月の男子強化指定選手24名への提供の様子

ヤマトホールディングス傘下のヤマト包装技術研究所株式会社は、車いす利用者がより快適に車いす輸送を行うための専用資材の研究・開発を進め、車いすバスケットボール専用資材を男子・女子強化指定選手や、次世代育成選手に提供しております。

当社は、2018年12月に一般社団法人日本障がい者バドミントン連盟とオフィシャルサプライヤー契約を締結、2019年8月に一般社団法人日本車いすラグビー連盟とオフィシャルサポーター契約を締結しております。選手が競技に集中できる環境作りをサポートすることを通じて、各競技のさらなる発展に寄与してまいります。



Rio 2016



Youth Olympic Games Singapore 2010



Rio 2016



Beijing 2008 Paralympic Games

ヤマトホールディングスは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナー（荷物輸送サービス）です。

東京2020 オリンピック・パラリンピック 観戦チケットをプレゼント

株主の皆様へ、当社が物流面から支援する東京2020オリンピック・パラリンピックを体験いただきたく、観戦チケットを合計40名様分をご用意しました。ご応募いただいた株主様の中から抽選でプレゼントいたします。WEBまたはハガキでご応募ください。

オリンピック			パラリンピック	
バドミントン	体操（体操競技）	卓球	車いすバスケットボール	
 8月1日(土) 18:00-23:00 席種:A 6名様	 8月2日(日) 17:00-20:00 席種:A 6名様	 8月7日(金) 19:30-22:40 席種:A 8名様	 9月5日(土) 17:45-22:00 席種:A 20名様	
男子ダブルス／3位決定戦・決勝戦・表彰式 女子シングルス／準決勝	男女種目別／決勝・表彰式 (男子種目別ゆか、女子種目別跳馬、男子種目別あん馬、女子種目別段違い平行棒)	男子団体／決勝戦・表彰式	女子／3位決定戦・決勝・表彰式	
会場：武蔵野の森 総合スポーツプラザ 東京都調布市西町290番11	会場：有明体操競技場 東京都江東区有明一丁目10番1号	会場：東京体育館 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目17番1号	会場：有明アリーナ 東京都江東区有明一丁目11番	

競技スケジュール、会場などは変更となる可能性があります。

応募要項

● 応募締切 2020年1月31日(金) ※2020年1月31日消印有効

● 応募方法

① WEBで応募

下記サイトへアクセスの上、専用応募フォームよりご応募ください。

ヤマトホールディングスホームページ>株主・投資家情報

>IR資料室>株主の皆様向け冊子

<http://www.yamato-hd.co.jp/investors/library/report/>

アンケートナンバー ⇨ ●●●●●●



② ハガキで応募

郵便ハガキをご用意いただき、必要事項①株主様ご本人のお名前
②ふりがな③郵便番号④ご住所⑤年齢⑥ご連絡先電話番号⑦メールアドレス(お持ちの場合)⑧ご希望競技(いずれかひとつ)⑨同伴者の有無と同伴者のお名前をご記入の上、送付をお願いいたします。

ハガキ送付先:

〒100-6026

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング26階

ヤマトホールディングス(株)

「東京2020オリンピック・パラリンピック観戦チケット応募」係

ご当選の発表は、2020年2月下旬頃のご案内の発送をもって代えさせていただきます。

● ご注意

- ・ご応募は株主様お一人1回限りとさせていただきます。WEBとハガキの両方でご応募があった場合は、WEBのご応募を優先させていただきます。
- ・株主様1名につき同伴者1名までのご応募が可能です。ご応募の際は必ず同伴者の有無と同伴者のお名前、ご希望競技(いずれかひとつ)をご入力(ご記入)ください。
- ・チケットの発送時期は、当選された株主様へご案内させていただきます。
- ・当選されたチケットは、当選されたご本人とその同伴者のみのご利用が可能です。
- ・当選したチケットを他人に譲渡、転売、換金等はできません。また、払い戻しを行うこともできません。
- ・当選時には、大会組織委員会が定めるチケット規約やルール等に同意いただく必要があります。
- ・大会チケットの進呈には、別途お手続き(ご本人確認書類の提出等)が必要となる場合があります。
- ・各競技会場までの交通費・宿泊費につきましては、当選者のご負担となります。
- ・会場にて身分証明書の提示を求められる場合があるため、当選者をご来場される際には身分証明書を携帯してください。
- ・今回ご応募いただきました株主様の個人情報は東京2020観戦のご招待に係る業務以外での目的には使用いたしません。

● ご質問などのお問い合わせ先

ヤマトホールディングス(株)

「東京2020観戦チケット応募 窓口」

TEL 03-6362-9625 平日9時～17時 ※12月30日～1月3日除く
(お電話によるご応募は受け付けておりません)



株主の皆様の優先ご招待枠を設けました。

「羽田クロノゲート」&「関西ゲートウェイ」見学コースのご案内

スピード輸送ネットワークと高度な付加価値機能を一体化した物流ターミナルの見学コースです。

ヤマトグループが提供する「物流の付加価値」をご体感ください。

ぜひ
ご応募
ください。

- ご応募多数の場合は抽選によるご招待とさせていただきます。
- 他の株主様や一般のお客様と合同の20~40名のグループごとでの見学です。
- 小学校高学年以上の方に理解しやすい内容となっておりますが、どなたでもご参加いただけます。
- 説明員の話す言語は日本語です。見学コースの一部で音声ガイド(英語・中国語の2カ国語)または字幕をご利用いただけます。

- アクセス ※電車・バス等の公共交通機関のご利用をお願いします。
※往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

羽田クロノゲート 所在地 東京都大田区羽田旭町11-1
 ・京浜急行空港線「穴守稲荷駅」より 徒歩約5分
 ・京浜急行空港線「天空橋駅」より 徒歩約10分
 ・東京モノレール「天空橋駅」より 徒歩約10分

関西ゲートウェイ 所在地 大阪府茨木市松下町3-1
 ・東海道本線「茨木駅」より バスで約10分
 ・阪急京都線「茨木市駅」より バスで約13分

開催日時/2020年3~6月の土日祝日(下記の色がついている日) 集合・解散場所/羽田クロノゲート・関西ゲートウェイ 各受付

■ 14:00~ ■ 10:00~

2020.3

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020.4

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2020.5

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2020.6

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※当日の集合場所等の詳細は、当選した株主様へご案内させていただきます。

応募要項

- **応募締切** 2020年1月31日(金) ※2020年1月31日消印有効

- **ご招待人数** 各回6名(株主様1名につき同伴者1名まで)
※一般のお客様と合同のグループでの見学となります。

● 応募方法

① WEBで応募

下記サイトへアクセスの上、専用応募フォームよりご応募ください。

ヤマトホールディングスホームページ>株主・投資家情報

>IR資料室>株主の皆様向け冊子

<http://www.yamato-hd.co.jp/investors/library/report/>

アンケートナンバー ⇨ ●●●●●●



② ハガキで応募

郵便ハガキをご用意いただき、必要事項①株主様ご本人のお名前②ふりがな③郵便番号④ご住所⑤年齢⑥ご連絡先電話番号⑦参加ご希望日とご希望の施設(羽田または関西)⑧同伴者の有無をご記入の上、送付をお願いいたします。

ハガキ送付先:

〒100-6026

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング26階

ヤマトホールディングス(株)

「羽田クロノゲート・関西ゲートウェイ見学応募」係

ご当選の発表は、2020年2月下旬頃のご案内の発送をもって代えさせていただきます。

● ご注意

・ご応募は株主様お一人1回限りさせていただきます。WEBとハガキの両方でご応募があった場合は、WEBのご応募を優先させていただきます。

・ご応募の際は必ず同伴者の有無とご希望の施設(羽田または関西)をご入力(ご記入)ください。

・見学コース内でのカメラ、携帯電話などによる写真撮影、ビデオ撮影、録音はできません。

・見学時間は羽田クロノゲートは約90分間、関西ゲートウェイは約80分間です。見学中に休憩時間は設けておりません。

・貸出用椅子、ベビーカーをご用意しています。貸出を希望される場合は、お申し出ください。

・作業の都合上、見学中に機械が動いていない場合があります。

・天候・当施設の都合等により、やむを得ず見学を中止、または内容を変更する場合があります。

・小学生以下のお子様には保護者の方がご同伴ください。

・当選した権利を他人に譲渡することはできませんのでご了承ください。

・今回ご応募いただきました株主様の個人情報は見学コースのご招待に係る業務以外での目的には使用いたしません。

● ご質問などのお問い合わせ先

ヤマトホールディングス(株)

「羽田クロノゲート・関西ゲートウェイ見学応募 窓口」

TEL 03-6362-9625 平日9時~17時 ※12月30日~1月3日除く
(お電話によるご応募は受け付けておりません)

事業フォーメーション別概況・収益構成

デリバリー事業

宅急便・クロネコDM便
などを中心とする
小口貨物輸送サービス



ヤマトグループに
おける収益構成

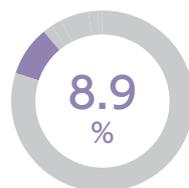


BIZ-ロジ事業

ロジスティクス事業など
企業向けの革新的な
物流システム



ヤマトグループに
おける収益構成



ホームコンビニエンス事業

生活サポート・
流通サービスを中心とした
総合支援サービス



ヤマトグループに
おける収益構成



e-ビジネス事業

IT、AI、IoTなどの新技術を
活用した情報システム開発や
事業サポート



ヤマトグループに
おける収益構成

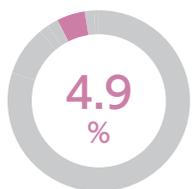


フィナンシャル事業

通販商品の代金回収、
企業間決済、車両リースなどの
決済・金融サービス



ヤマトグループに
おける収益構成



オートワークス事業

車両整備や物流施設・設備機器の
維持保全、保険提案などの
トータルサポート



ヤマトグループに
おける収益構成



連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業収益 Point ①	789,131	800,126
営業原価	740,377	765,664
営業総利益	48,754	34,462
販売費及び一般管理費	25,319	28,248
営業利益 Point ②	23,435	6,213
営業外収益	1,222	1,235
営業外費用	1,900	4,719
経常利益 Point ③	22,756	2,730
特別利益	40	3
特別損失	1,069	224
税金等調整前四半期純利益	21,727	2,509
法人税等	11,597	5,802
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,130	△3,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	167
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,981	△3,459

ポイント解説

Point ①

営業収益は、デリバリー事業の構造改革を推進した中で、宅急便単価が上昇したことなどにより、前年同期に比べ1.4%増加し、8,001億26百万円となりました。

Point ②

営業利益は、集配体制の強化を進めたことなどにより、外部委託費用は減少したものの、人件費が増加するなど、営業費用の増加が営業収益の増加を上回ったことにより、前年同期に比べ73.5%減少し、62億13百万円となりました。

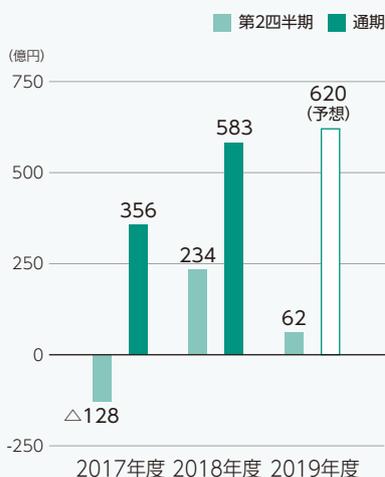
Point ③

経常利益は、持分法による投資損失が増加したことなどにより、前年同期に比べ88.0%減少し、27億30百万円となりました。

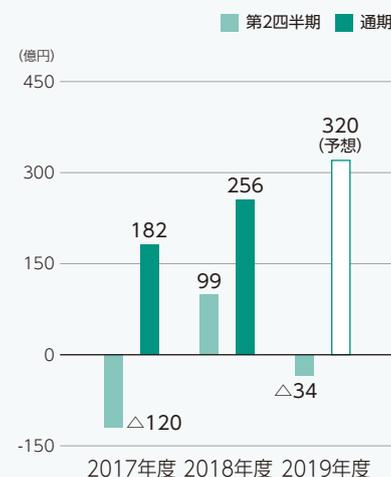
営業収益



営業利益(損失)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(損失)



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2019年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2019年9月30日
[資産の部]		
流動資産	550,258	499,707
固定資産	573,401	572,259
有形固定資産	428,918	430,324
無形固定資産	20,624	21,324
投資その他の資産	123,858	120,609
資産合計 Point ①	1,123,659	1,071,966
[負債の部]		
流動負債	410,423	372,762
固定負債	139,847	136,442
負債合計 Point ②	550,270	509,205
[純資産の部]		
株主資本	556,459	546,654
その他の包括利益累計額	9,381	8,527
非支配株主持分	7,547	7,578
純資産合計 Point ③	573,388	562,760
負債純資産合計	1,123,659	1,071,966

ポイント解説

Point ①

資産合計は、有形固定資産の取得により現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ516億93百万円減少し、1兆719億66百万円となりました。

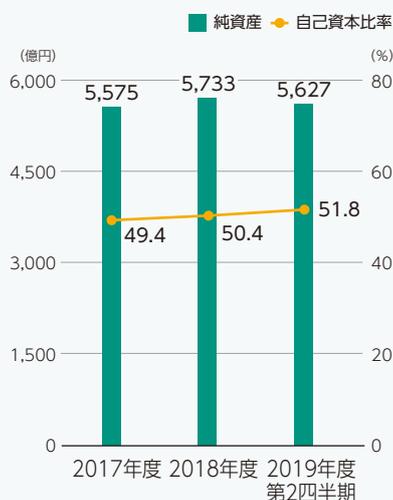
Point ②

負債合計は、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ410億65百万円減少し、5,092億5百万円となりました。

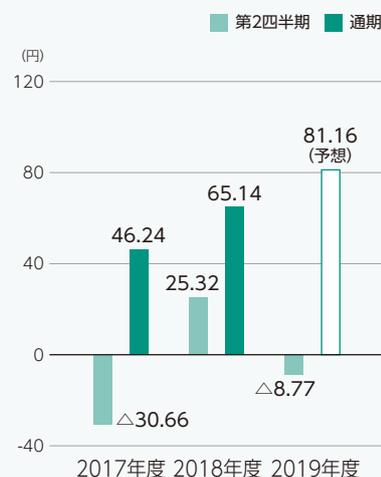
Point ③

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失が34億59百万円となったこと、剰余金の配当を実施したことなどにより、前連結会計年度に比べ106億28百万円減少し、5,627億60百万円となりました。

純資産／自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益(損失)



1株当たり配当金



連結財務諸表(要旨)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	45,305	1,737
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△30,205	△33,854
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△32,586	△13,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	△306	△195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,792	△45,913
現金及び現金同等物の期首残高	202,863	194,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	185,070	148,737

ポイント解説

Point 1

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が減少したこと、および法人税等の支払額が増加したことなどにより、前年同期に比べ435億68百万円減少し、17億37百万円の収入となりました。

Point 2

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同期に比べ36億48百万円増加し、338億54百万円の支出となりました。

Point 3

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の収支による支出の減少などにより、前年同期に比べ189億85百万円減少し、136億円の支出となりました。

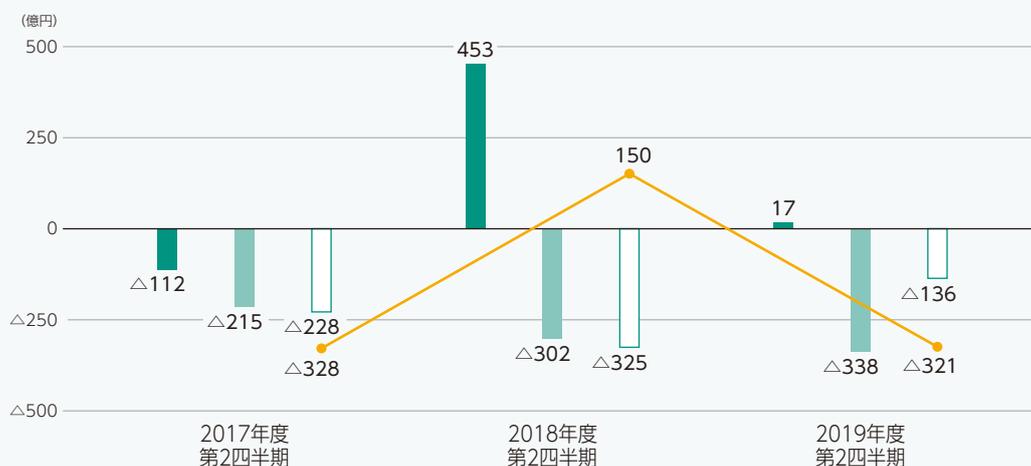
より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

検索

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー □ 財務活動によるキャッシュ・フロー ◆ フリー・キャッシュ・フロー



株式の状況 / 会社概要 (2019年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	1,787,541,000株
発行済株式の総数	411,339,992株
株 主 数	53,337名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,138	11.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,904	6.57
ヤマトグループ社員持株会	20,754	5.26
日本生命保険相互会社	14,770	3.75
明治安田生命保険相互会社	14,314	3.63
株式会社みずほ銀行	10,247	2.60
ヤマトグループ取引先持株会	8,283	2.10
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	7,575	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	6,651	1.69
トヨタ自動車株式会社	5,748	1.46

※自己株式は上記の大株主一覧より除外しています。
 ※持株比率は自己株式数を控除して算出しています。

会社概要

商 号	ヤマトホールディングス株式会社
本店所在地	〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号 TEL 03-3541-4141(代表)
創 業	1919(大正8)年11月29日
設 立	1929(昭和4)年4月9日
資 本 金	127,234,791,077円

●本冊子はヤマト運輸株式会社の小さな荷物をポストに投函するサービス「ネコポス」で発送しています。クロネコメンバーズにご入会いただき、設定^(※)していただくと、お受け取りの際にeメールで「お届け予定通知」を受信することができます。

※クロネコメンバーズサイトにログインし、「お客様情報」、「通知の受信設定(eお知らせ設定)」を選択、受信設定を「利用する」に設定した上で、「eお知らせ設定を保存」を選択してください。宅急便でお送りする「e-お知らせシリーズ登録完了のご案内」のお受け取りの翌日からサービスをご利用いただけます。

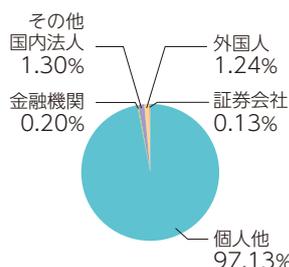
クロネコメンバーズ

検索

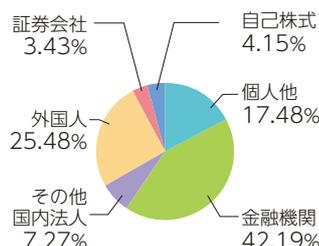
株価・売買高の推移(東京証券取引所)



株主数比率



株式数比率



株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月に開催
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	中間配当を行う場合には、9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事 務 取 扱 所 (手続お申出先)	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324
公 告 方 法	電子公告 (http://www.yamato-hd.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
銘 柄 コ ー ド	9064

ヤマトホールディングス株式会社

〒104-8125 東京都中央区銀座二丁目16番10号

TEL 03-3541-4141(代表)

<http://www.yamato-hd.co.jp/>



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。